

# アルム、DX推進で連携

## 燕三条地場産振センターと

【金沢】アルム（金沢市、平山京幸社長）は、燕三条地場産振センター（新潟県三条市、滝沢亮理事長）と機



械加工における自動化やデジタル変革（DX）の推進を図るための覚書を交わした（写真）

（真）。官民連携で地元中小企業の製造支援に乗り出す。

覚書の締結とともに、自社開発製品のマーケティングセンター（MSI）向け人工知能（AI）搭載機械加工プログラム自動生成ソフトウェア「アルムコード1」を贈呈した。贈呈式に合わせて行った加

工デモは、地元の中小企業約20社が参加。生産の効率化、技能者不足など中小企業が抱える課題解決の糸口として活用を提案した。

「熟練者がその技術にふさわしい仕事に集中するための補完としての位置付けだ」（平山社長）と、生産性の相乗効果を生む意義を語った。今後は啓発セミナーの共同開催や研究成果の情報共有を行い、燕三条地域の中小企業の活性化を促す。